Hayama Town Council News No.166

はやま議会だより



一色の海を臨みて　市瀬（いちせ）　優（ゆう）氏（一色在住）

施設入所した93歳の母が、
入所直前に大腿骨頭置換術を受け、
リハビリに取り組む中で描いた絵です。
海を映した動画を見ながら、
色を選び、重ねて、海を描きました。
砂に重なる波の部分が、
紫の色味に感じられたようです。

（長女・陽子氏より）関連記事 P24



議会だより　166号

議会主催研修会（申込不要）

JCLP

テーマ

「グローバル基準の脱炭素と地方の生き残り戦略」

～国際社会から見た日本の現在地と、地方議員が今起こすべき変革～

日 時　：11月24日（火）15:00～16:30
場 所　：葉山町教育委員会 研修室
講 師　：一般社団法人 日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）
　　宮島 健輔　氏

8月8日は
暑すぎる夏を
終わらせる日



宮島 健輔（みやじま けんすけ）　葉山町在住

1993年 株式会社オリエンタルランド入社。アトラクション運営、営業、企画、PR・宣伝、マーケティング、CSR、環境・サステナビリティなどを担当。
環境分野の業務や趣味の海遊びを通じて、意識を上げる地球の温暖化対策への使命感を強める。
2024年8月に同社を退社し、同年9月IGES入所・JCLP事務局着任。
2025年7月よりJCLPは一般社団法人として完全独立。
240社の企業集団による脱炭素化を支援。
趣味はウィンドサーフィン、スキー、美味しいクラフトビール開拓。

議会だより165号で予告した次回の「町民との会議」は調整がつかず中止となりました。皆さまにお詫び申し上げます。

次回定例会議は12/1-12/17の予定です。

議案審議	12/ 1(火)	12/16(水)	
一般質問	12/14(月)	12/15(火)	12/16(水)
各常任委員会	12/ 2(水)	12/ 3(木)	12/ 4(金)
クリーンセンター再整備に関する特別委員会	12/7(月)		
議会運営委員会	12/ 8(火)		

定例会議のスケジュールは変更になる可能性があります。

また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。
詳しくは議会ホームページにてご確認ください。

表紙説明

母は波打ち際を散歩しよう！を合言葉にリハビリを続け、歩行器で歩けるところまで回復しました。

入所の数日後には家族で一色海岸に出かけ、寄せる波に足を濡らして大はしゃぎしました。施設の皆さまに優しく接して頂き、現在94歳になっています。

議会のライブ・録画中継はスマートフォン、タブレットでも視聴できます。

議会ホームページのトップのGoogleカレンダーから、最新の議会日程が確認できます。

編集後記

2026年9月は例年になく、雨天の日々が続いていました。特に三浦半島に接近した台風25号では、記録的大雨で住宅を巻き込む土砂災害が相次いで発生し、横須賀、三浦両市においては、5名の方が犠牲になられました。神奈川県は、両市に災害救助法を適用しています。

亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々が一日も早く通常の日々に戻れることをお祈り申し上げます。

わが町においても、裏山が崩れたり、道路が陥没したりする事例が発生いたしました。ゲリラ豪雨等、自然災害はいつ起こるかわかりません。今後も、災害情報等の収集・発信に努めていきます。

私の任期中最後の編集後記となりますが、引き続き議員の役割、使命を果たしてまいります。

荒井直彦　記

議長　土佐 洋子
議会広報常任委員会
山田 由美　金崎 ひさ
笠原 俊一　荒井 直彦
笹本 貢史　窪田 美樹
中村 和雄

発行／葉山町議会　〒240-0192　神奈川県三浦郡葉山町堀内2135
編集／議会広報常任委員会　発行日／令和8年11月21日　TEL.046-876-1111

令和7年度 決算を認定 町の未来に向けて

暮らし

クリーンセンター再整備完了



令和7年8月から生ごみ資源化施設本格稼働

はやまるタクシー2台へ



実証運行　3284万円
（うちワゴン車購入555万円）

町道牛ケ谷戸・戸根山線工事

クリーンセンター工事終了に伴う舗装復旧工事　3070万円
（令和8年度に繰越4927万円）



友好都市交流

ゴルフ・少年少女サッカーの2団体に補助　15万円



公開型GIS導入

町の地図データをホームページで公開　258万円



3団地　公共下水道に接続

東伏見台・パークド葉山四季・シーライフパークのつなぎ替え工事　1601万円



維持管理は民間力活用

		歳入	前年度増減	歳出	前年度増減
一般会計		147億4581万円	3億2329万円	137億300万円	1億1960万円
特別会計	国民健康保険	31億8752万円	△2億6710万円	31億5562万円	△2億5178万円
	後期高齢者医療	14億2369万円	6074万円	13億3119万円	5700万円
	介護保険	35億3571万円	638万円	34億4261万円	1164万円

		収益的（日々事業運営に係る）		資本的（施設新設・更新等）	
		収入（使用料・他会計補助金等）	支出（人件費・業務委託費等）	収入（企業債・国補助金等）	支出（工事費・償還金等）
下水道事業会計		13億2959万円	12億9691万円	10億5295万円	17億3784万円
	前年度増減額	5904万円	1億2189万円	△10億629万円	△9億9677万円

高齢者福祉

看護小規模多機能型居宅介護

施設整備等補助　4751万円



訪問看護・訪問介護・ショートステイ・デイケアを複合的に提供

外出支援

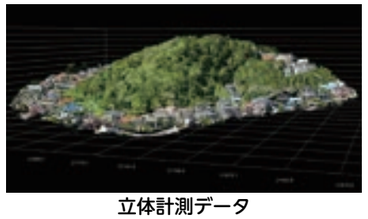
おでかけタクシー券　1026万円



防災・安全

空から町有緑地の調査

緑地管理の基礎資料作りにドローン活用　199万円



立体計測データ

イノシシ捕獲を業者委託

年間126頭捕獲の うち9頭分（山奥での捕獲拡充のため）　157万円



消防力の強化

消防車両等整備　2706万円

消防団詰所の改修等　2382万円



楽校（がっこう）・教育

葉山小学校100周年

記念事業補助金　173万円



小中一貫校の時代へ

教育センター改修

空調や太陽光発電等　4247万円



令和8年4月から発電スタート

決算総括質問

伊東・窪田・近藤が登壇

教　育

伊東 令和７年度決算の評価について伺う。
答 葉山町教育ビジョンの初年度にあたり、施設分離型小中一貫校の開校をはじめ、不登校生徒・児童への支援体制の強化など教育施策の充実に取り組んだ。また、本町教員が逮捕される事案が発生した件については、信頼を失墜させるものであり、重く受け止めている。再発防止に向けた取り組みを進める。

窪田 全校で始まった校内教育支援センターの様子は。
答 教室に入れなくても通えるようになったという声がある。今後も経過を見ていく。



上山口小学校の校内教育支援センター「にじいろ」

行 財 政

伊東 令和７年度決算の評価について伺う。
答 第五次総合計画の初年度として各分野の行政サービスを着実に進めるとともに今後の公共施設再整備に備え、公共施設等将来構想及び中期財政見通しを公表し、将来を見据えた財政運営の方向性を示した年度であった。

伊東 財政の健全化について伺う。
答 決算に基づく健全化判断比率は、いずれの指標も健全化基準を下回っている。しかし、経常収支比率は95.8％となり、財源の余力が縮小しており、経常経費の抑制や歳入の確保に努める。

伊東 歳入の確保について伺う。
答 引き続き歳入の根幹である町税を着実に確保するべく収納率向上に取り組む。また、国・県の補助制度や地方財政措置に関する情報を的確に把握し、活用可能な財源を精査する。ふるさと納税などの寄附金収入の、より一層の確保に努め、歳入構造の強化を図る。

近藤 新たな補助金をどう確保したのか。
答 各課で制度を調査し、活用できる補助金を申請した。

近藤 湘南国際村の企業に町への協力を求めたか。
答 遊具の寄附を企業と調整している。

自然環境

窪田 三浦半島全域に広がったイノシシなどの鳥獣対策として、町内に焼却施設設置は。
答 必要性は認識しているが、設置場所、近隣への影響、運営方法などの課題があり、引き続き検討する。

近藤 脱炭素に向けて、広域で連携すべきでは。
答 電力供給の課題も踏まえて研究していく。

都市環境

近藤 民泊の苦情や増加に実効性ある対策を求める。
答 県と連携し、規制のあり方を検討する。

近藤 生ごみ資源化施設の追加工事と費用管理に問題はなかったのか。
答 協議や管理に不十分な点があった。

近藤 増工事の金額確認を徹底すべきではないか。
答 事前協議など運用の改善を図りたい。

町民との協働

窪田 葉山の魅力の発信、エシカルアクションの効果は。
答 環境や資源循環等を発信し葉山ファンを増やしている。

近藤 地域行事の担い手不足を町はどう支援するのか。
答 担い手や資金面の課題を整理し検討する。



葉山エシカルアクション

公共交通

窪田 はやまるタクシー利用が伸びないが今後の方向性は。
答 公共交通は必須と考えている。定時定路線試行などニーズに合う方法を検討する。

防災減災対策

窪田 下水道・マンホールの大雨等に備えた調査・修繕は。
答 民間の技術も活用し、管路等を調査・維持管理する。危険度や費用を考慮し修繕する。

窪田 県管理河川にも清掃・浸水対策等を求めるべきでは。
答 土砂等危険性を指摘し、県への申し入れを行っている。

決算特別委員会審査

金崎委員長　笠原副委員長
三浦・中村・近藤・伊東 委員

町長・教育長質問

法定外税（宿泊税・別荘税等）の検討を

町長 導入に向けて検討したが具体的な手段の決定には至っていない。

問 公共施設の再編等があり、少しでも多く歳入を確保することが大事だ。那須町も宿泊税を導入する。検討はいかがか。

町長 宿泊施設が少なく、それほど大きな税収が見込めない。

問 三浦市でヨット税を導入したことがあるが。

町長 知らなかったので調べてみる。

実証実験のはやまるタクシーの今後は

町長 AIオンデマンド型の実証運行では利用者数は本格導入に必要な水準まで伸びなかった。今後１年半ほど定時定路線型の運行方式に切り替えて検証を行う。利用者にとって分かりやすい交通手段となる持続可能な公共交通の構築に向けて、今後も検証を進めたい。

問 持続可能でなければ中止するのか。

町長 交通権とは多様な交通サービスのあり方についての検証であり、はやまるタクシーに限らず、移動の機会確保は、引き続き議論する。

問 実証実験でリピーターが定着するので、次の実証実験が始まるまでは、今の体制のまま継続すべきと思うが。

町長 PDCAという検証サイクルの下に動いている実証実験として予算を組んでいる。

問 福祉的意味であれば、デマンドの必要があり、町づくりの視点も入れるべきだが。

町長 引き続き、人がつながる視点を大事に行う。

タクシー外出支援における タクシー券利用枚数の見直しを

町長 外出の機会創出を目的としているので現時点での枚数の見直しを行う予定はないが、さらなる「高齢者おでかけタクシー」の認知度アップに向けて、引き続き周知活動、啓発は進めていく。

問 予算に不用額が出ることの問題点は１回１枚しか使えないことにあるのでは。

町長 そうするには制度の目的を変える必要がある。

福祉文化会館管理棟の整備方針は

町長 公共施設等将来構想で子育て支援センターや保健センターの移転候補として位置づけている。しかし、物価高騰等により、整備を直ちに進めることは困難な状況だ。福祉文化会館全体の維持管理は適切に行っており、施設機能の維持に努めている。空きスペースについては、計画の進捗までの間、暫定的な有効活用の可能性を検討する。

問 子育て支援センター「ぽけっと」は、山を裏に抱える状態だ。想定外の豪雨が増えているので、早く移すべきだ。保有地の売却処分も視点に含めては。

町長 地域の方の理解を得られるような資産運用として考えたい。

町営住宅の風呂釜の変更を

町長 バランス釜は安定した維持管理をしている。給湯器より耐用年数が若干長く、交換、更新ができることも大きな利点だ。

問 安全面を含め給湯器の設置を急ぐ必要があると思うが。

町長 安全基準にのっとった運用の検討を課題としたい。



町営住宅の風呂釜

小学校の体育館の空調に対する今後の展望は

教育長 中学校で取り組んでおり、必要性は感じるがすぐには難しい。

問 避難所としても空調設備は必要だが。

教育長 補助金が、令和15年度まで実質の２分の１出ることになっており、できる限り早く進めたい。

令和8年8月臨時会議

8月17日

控訴の提起について

「株式会社サンピアによる下山口マンション計画」に関する訴訟の判決が８月３日にあり、葉山町の主張が一部認められず、町は1888万2150円の損害賠償を請求されました。この判決に対して控訴するため議会の承認を求めたもので、賛成多数で可決しました。

問 1審判決の、どの判断を覆すことを考えているか。

答 「事前協議書を提出するにあたって、必要な近隣住民の意見等が十分尊重されていないことから、受理できる段階ではなかった」とする町の主張が認められなかったことに対して提訴する。

問 弁護団を編成するなど、盤石な体制で臨むようにとの指摘が議会であった。控訴にあたってどうするか。

答 顧問弁護士以外の、より専門的な弁護士や学識者の力添えを得ていきたい。

問 町と町民全体で、1審判決に対する怒りをぶつける勢いが必要だと思うが。

答 民主主義のあり方が訴えられていると認識しており、負けるわけにいかない。全力を尽くしたい。

反対討論 三浦

- 複数の選択肢があり得る中で、控訴することが町民にとって合理的な選択なのか、公費を投入して控訴審の判断を求めることの必要性と相当性があると判断できない。

賛成討論 近藤・伊東

- 住民の安全や生活環境に関わる問題であり、葉山町の今後のまちづくり行政に重大な制約や影響が生じるばかりか、全国の自治体にも影響を及ぼす問題だ。
- 勝てるかどうかで判断すべき問題ではない。
- 都市計画法第32条との関係を含め、上級審の判断を求めることに大きな益・意義がある。

９月定例会議

９月４日から10月９日まで、補正予算、令和７年度決算、条例、陳情などを審議しました

討論があった陳情

葉山町まちづくり条例の見直しに、公募による町民代表を加えることを求める陳情書

委員会審査

「まちづくり施策の立案・推進にあたっては、町民から意見聴取することになっている」と採択を求める意見があった一方「趣旨は理解できるものの、公募に限定することは疑問である」と趣旨了承を求める意見に分かれ、採決の結果、可否同数であったため、委員長判断により不採択としました。

本会議

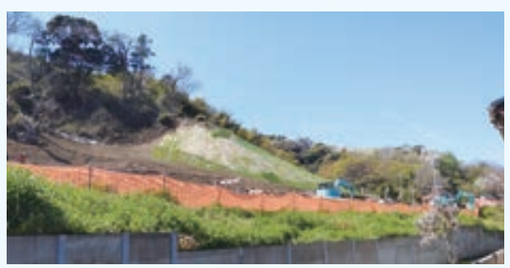
賛成討論 山田　金崎　窪田　中村　三浦

- 住民と業者の対立が起きており、町民の声を踏まえて検証することが必要である。
- 専門家や町民が参加することに意義がある。
- 現在の法律は人口急増時代に秩序ある開発を目的に定められたもので、これからの人口減少時代には合わない。
- 市民の声や裁判が社会を変えてきた。
- 公募の基準は町が作ればよい。

反対討論 笠原・石岡・待寺・笹本

- 条例を改正するかどうか、まだ決まっていない。
- 町民の意見を聞くことは賛成だが、公募の町民を初期段階から入れるのは問題。
- 公募の基準が不明確だ。町民の代表を決められない。
- ワークショップなど他の方法もある。
- 行政のとりまとめを土台に、意見を聞くスキームをつくるのが良い。

→賛成少数により不採択



開発中の茅木山

委員会審査結果

- 一般会計
- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 下水道事業会計

  は全会一致により認定
- 後期高齢者医療特別会計は賛成多数により認定

また、審査の中で議論され、特に抽出された指摘及び要望については、次のとおりです。

指　摘

- 堀内会館における駐車料金の問題について早急に解決すべき
- 学校現場での不祥事が今後起きないよう万全を期すべき



堀内会館駐車場

要　望

- 友好都市連携における交流助成について、団体以外にも拡充を
- タクシー外出支援事業の目的と利用方法の再検討を
- 情操教育推進事業において個人負担がないよう改善を
- 消防団員の出動手当の見直しを
- 塵芥収集車等購入時における保険料の予算措置においては、庶務担当課と連絡体制を密にされたい
- 町営住宅の給湯設備の更新の検討を

意　見

- 新耐震住宅（グレーゾーン）についても補助対象に
- 通学路における倒壊等の危険のあるブロック塀の撤去について、早急に対応するよう努力を

本会議での審議結果

主な賛成討論

一般会計 窪田・伊東

- 子育て世帯訪問支援事業が始まり、家事援助13回、育児支援24回であった。
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所を開設した。
- 過去最大規模の予算となり、限られた財源の中で事業を推進した。
- 町民生活を支える各種施策が着実に進められている。

主な反対討論

後期高齢者医療特別会計 窪田

- 75歳以上を別枠の医療制度の枠組みに囲い込む差別的な制度だ。
- 他世代と比べ医療費がかかる高齢者だけを対象とする制度では保険料の値上げが避けられない。
- 医療費２割負担の軽減措置が終了。

国民健康保険特別会計 窪田

- 保険料を抑える努力が伺える。



看護小規模多機能型居宅介護事業所

一般会計	全会一致で認定
国民健康保険特別会計	全会一致で認定
後期高齢者医療保険特別会計	賛成多数で認定
介護保険特別会計	全会一致で認定
下水道事業会計	全会一致で認定

９月定例会議

９月４日から10月９日まで、補正予算、令和７年度決算、条例、陳情などを審議しました

補正予算

歳　入

社会福祉費県補助金　△6015万円

認知症対応型共同生活介護事業所の整備延期に伴う減額

消防費県補助金　80万円

町が地域防犯カメラを設置する事業に対して交付

寄付金

●一般寄付金（ふるさと納税）　6000万円
ふるさと納税寄附金が当初見込みを上回るための増額

●民生費寄付金　10万円
障害福祉に関わる施策への寄附金

●教育費寄附金
はやま学び共創プロジェクト創設　100万円
葉山小学校・一色小学校への寄附金　300万円

繰越金　5億9959万円

衛生費雑入　1978万円

令和8年11月からの、逗子市の生ごみ搬入に伴う負担金



ふるさと納税（イメージ）

歳　出

ふるさと納税管理委託料　2850万円

ふるさと納税寄附金が当初見込みを上回るための増額

基金積立金

決算剰余金の確定に伴う増額
●財政調整基金積立金　3億2000万円
●公共公益施設整備基金積立金　7000万円

神奈川県町村情報システム共同事業　118万円

税制改正や、民法改正（共同親権）に伴う改修経費

各種福祉団体等補助金　△6015万円

認知症対応型共同生活介護事業所の整備延期に伴う減額

問　整備延期の理由は何か。資材の高騰か。

答　令和8年度に実施の予定だったが、どこからも相談がなく、手も上がらなかった。1ユニット（9人）では採算が取れないので、2ユニット（18人）で引き続き募集する。

国民健康保険特別会計繰出金　1億5883万円

国民健康保険特別会計の安定的運用のため

高齢者の補聴器装用推進　54万円

申請件数が当初見込みを上回ることに伴う増額

問　申請が増えた分、県の補助金は。

答　追加分に対して県補助は出ないので、町が単独で9件分を出す。



耳かけ型補聴器

児童相談事業　8万円

子育て支援推進事業　10万円

教育・保育給付支給事業　33万円

物価高騰支援の追加に伴う増額

救急医療対策事業　2250万円

公益財団法人逗葉地域医療センターの指定管理委託料見直しに伴う増額

保健衛生関連団体支援事業　3498万円

逗葉地域医療センターの「健診・検診事業」の廃止に伴う補填金

問　医療センターに関し、このような補正予算を組む事態になった経営責任は。

答　一次救急医療は収支見込みの難しい指定管理事業だが、行政としての責任がある。健診・検診事業は本来、センターが収支の均衡を図るべきだが、経営判断が遅れた。今後は、体制強化などに向けて積極的に対応していく。



逗葉地域医療センター

町営住宅維持管理事業　194万円

滝の坂住宅において退去者が生じたことに伴う修繕費

葉山町教育基金積立金　100万円

はやま学び共創プロジェクト寄附金積み立てに伴う増額

問　はやま学び共創プロジェクト寄附金は、なぜ教育基金に組み入れるのか。必要な教育費は、公費で賄うべきではないか。

答　最低限の教育の保障は公費で賄い、新しい学びに挑戦する先生や子どもたちを支援するのが、基金とするねらいだ。100万円を目標に、クラウドファンディングで寄附金を募る。

問　使途はどう決めるのか。

答　教育委員会が学校長などと相談しながら、提案を審査する。

学校管理費　184万円

寄附金を活用した、一色小学校の音楽室エアコン更新と製氷機購入



製氷機（イメージ）

小学校情報教育推進事業　168万円

寄附金を活用した葉山小学校で使用する大型モニター（16台）の購入費



大型モニター（イメージ）

公共施設等運営権の設定

公共下水道の経営、維持管理、改築に関する業務及び附帯事業等の義務事業の運営権を、令和29年3月31日までの期間、＊特別目的会社アクアデザイン葉山株式会社に設定しました。

＊特別目的会社
特定の事業や資産の保有・管理だけを目的として設立される会社

工事請負契約の締結

令和７年度から９年度の３カ年にかけて実施を予定しているみそぎ橋橋梁補修工事のうち、令和８年度に実施する第２期工事分の工事請負契約を締結しました。



みそぎ橋

皆さまから寄せられた 陳情 等の審査

委員会レポート

陳情名は一部省略しています

総務建設常任委員会

委員長　荒井 直彦

葉山町行政組織の見直しのための関係条例の整備に関する条例

①情報化施策に関する事務を総務部から政策財政部に移管する

②町長が教育委員会に委任している南郷上ノ山公園及び葉山しおさい公園の維持管理等に係る事務を町長が直接実施する

③葉山町教育研究所を廃止し、この事務を教育委員会学校教育課が実施する

審査では「南郷上ノ山公園等の移管により、議会が長年にわたって主張してきた行政組織の適正化が実現される」「デジタル推進室の格上げなど、DX や AI 活用といった現代の行政課題への積極的な対応が示されている」「現在実行可能な範囲での実効性のある改革が企図されている」との意見でまとまり、全会一致により可決しました。

→本会議で可決

葉山町デマンド型乗合タクシーの実証運行に関する条例の一部を改正する条例

定時定路線型乗合タクシーの実証運行ができるようにするものです。

審査では「今後のためにもあらゆる角度からの実証実験は必要である」との意見でまとまり、全会一致により可決しました。

→本会議で可決



陳情 非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める

核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向け、唯一の戦争被爆国である我が国の国是として、非核三原則を尊重し、堅持するよう国に求める意見書の提出を求めているものです。

審査では「葉山町においては、平成4年に葉山町非核平和都市宣言を行っており、守っていく立場にある」との意見でまとまり、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出することとしました。

→本会議で可決

所管事務調査

●下山口茅木山の造成工事の進捗



茅木山造成地（委員会資料）

意見書 国へ

非核三原則の尊重と堅持を求める意見書

核兵器を廃絶し、恒久平和を実現することは、広島・長崎への原爆投下という未曽有の惨禍を経験した世界唯一の戦争被爆国である日本国民、そして葉山町の悲願である。

教育民生常任委員会

委員長　待寺 真司

陳情 令和9年度における『重度障害者医療費助成制度』の継続

陳情 令和9年度における透析治療への通院困難者に対する『通院支援』の継続

関連があるので一括審査しました。担当課から、重度障害者医療費助成、透析治療への通院費助成ともに令和９年度も８年度同様に継続していく予定との意向が示されました。

委員からは「将来的には物価高騰も勘案しなければならないが、まずは担当課の継続の意向を議会として後押ししたい」との意見でまとまり、全会一致で採択しました。

→本会議で採択

陳情 OTC類似薬の追加負担実施を見送ることを求める意見書提出

要旨は、OTC類似薬77成分、1,100品目の薬について、１割から３割の窓口負担とは別に「特別料金（薬剤の25%）」の追加負担を求める「一部保険外療養の創設」が入っているので、OTC類似薬の追加負担実施を見送ることを求める意見書を、国に提出することを求めるものです。

委員からは「医療上必要な人に配慮すると国会の附帯決議でも触れている」「制度設計の中で取り残される人がいないかを検証すべきで、趣旨は理解できる」と趣旨了承を求める意見の一方「弱者に必要な『見送ることを求める意見書提出』は採択すべき」との意見がありました。委員間討議の結果「国も附帯決議を尊重する姿勢を示しており、不採択という結論は避けるべきだ」との意見により、全会一致で趣旨了承としました。

陳情 学校給食費の負担軽減に伴う非喫食児童への支援制度の創設

担当課から、国の通知や他市町の状況を踏まえ、実施の有無について検討しているとの説明がありました。

委員からは「対象者の線引きや財源に関する平等性の問題などはあるが、できるところから始めて欲しい。町の検討を後押ししたい」との意見でまとまり、全会一致で採択しました。

→本会議で採択

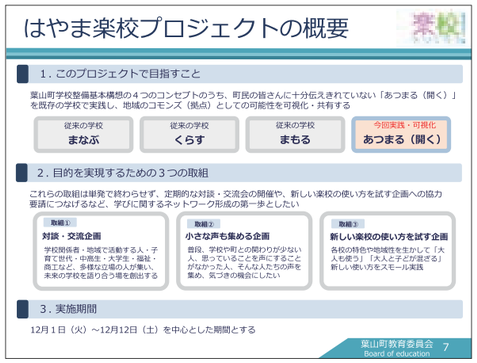


学校給食

所管事務調査

●学校再整備

- 令和8年度の取り組みの全体像の説明
- はやま楽校プロジェクトの概要説明



プロジェクト概要

●葉山町こども計画

- 地域子育て支援拠点事業の新規拠点の説明



地域子育て支援拠点候補地（委員会資料）

●ウオーターPPP（管路施設管理･更新一体マネジメント）事業

- 処理場等コンセッション事業開始までのスケジュールの報告
- 官民出資による組織体制の補完組織設立の説明



住民対応業務

広報常任委員会

委員長　山田 由美

議会改革

広報公聴の充実について検討しました。



町村議会広報研修会

8月28日に渋谷ラインキューブで実施され、3人の講師から「読み手を置き去りにしない」「地域取材やウェブアンケート」「レイアウトとは情報に優劣をつけること」「カラーは基本3色」等のお話を伺いました。今後の編集に生かして参ります。

議会運営委員会

委員長　伊東 圭介

陳情　町政に関する陳情取り扱いの改善を求める

議会に提出される陳情は、議会運営委員会において取り扱いを協議し、審査除外と決定したものは委員会に付託せず、議員配布の取り扱いとすることになっている。しかし、議会運営委員会の取り扱い協議では陳情の内容まで協議されないため、付託後の委員会審査において審査除外と判断されることがあり得る。このような場合には、委員会から議長に差し戻して審査除外とするか、委員会結論として審査除外とするなどの陳情取り扱いの改善検討を求めるものです。

委員からは「既に改善検討を実施し、その方向を示している」などの意見が出され、全会一致により「趣旨了承」としました。

議会改革

7月29日と8月20日に集中審議を実施し決定しました。

①委員会での陳情審査の結果、「趣旨了承」となった場合は委員会限りで本会議での採決は改めて行わないこと。

②議会運営委員会で受理された陳情の取り扱いを協議する際に「審査除外」と「委員会付託」で意見の一致を見ない場合は、やむを得ず多数決で決定する。

視察対応

●長崎県時津町議会
- 通年議会
- 議会での執行部の反問権

●京都府大山崎町議会
- 通年議会
- 議員報酬改定などの議会改革

●大分県九重町議会
- 予算特別委員会の運営

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

委員長　金崎 ひさ

共和化工(株)との協議

●神奈川県建設工事紛争審査会で第1回目の審理が9月3日に行われました。次回は11月中旬の予定です。

逗子市との協議

●6月19日、逗子市議会議員が葉山町の生ごみ資源化処理施設を視察しました。
●6月23日、逗子市議会でごみ処理負担金の補正予算が可決され、11月2日から逗子市の生ごみを受け入れます。
●工事遅延による損害金は弁護士による協議を継続しています。

各取り組みの報告

●台風25号被害
クリーンセンター進入路で土砂崩れが発生、収集業務を中止。翌日、再開しました。災害ごみ搬入は2件ありました。



土砂崩れの様子

●ごみ量の推移
8年度に入り増加傾向です。とりわけ生ごみ排出用の袋が16トン/月となっており、7年度の11トン/月より上回っています。今後の検討課題です。

●エシカル堆肥の配布
南郷上ノ山公園での配布に加え、8月からクリーンセンターでの配布を開始しました。農家への大口配布は予約制ですが、まだ、申し込みはありません。なお、個人での持ち帰りは予約不要です。



南郷上ノ山公園の堆肥置き場

令和8年8月臨時会議　表決結果

議案 ＼ 議員氏名(議席順)		三浦	星	笹本	中村	石岡	山田	金崎	荒井	笠原	待寺	窪田	近藤	伊東	土佐	結果	関連記事
議案第44号	控訴の提起について	×討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○討論	－	可決	P7

令和8年9月定例会議　表決結果

議案・決議・意見・陳情等 ＼ 議員氏名(議席順)		三浦	星	笹本	中村	石岡	山田	金崎	荒井	笠原	待寺	窪田	近藤	伊東	土佐	結果	関連記事
議案第49号	令和7年度葉山町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○	○討論	－	認定	P2～6
議案第50号	令和7年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○	○	－	認定	P2～6
議案第51号	令和7年度葉山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×討論	×	○	－	認定	P2～6
議案第52号	令和7年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○	○	－	認定	P2～6
議案第53号	令和7年度葉山町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○	○	－	認定	P2～6
陳情第8-19号	葉山町まちづくり条例の見直しに、町民の意見を取り入れてより良いまちづくり条例にすべく、公募による町民代表を加えることを求める陳情書	○討論	×	×討論	○討論	×討論	○討論	○討論	×	×討論	×討論	○討論	○	×	－	不採択	P7

○は賛成　× は反対　※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。
※令和8年9月定例会議から、委員会での審査結果が「趣旨了承」となった陳情については、本会議において委員長から審査結果の報告のみを行い、討論・採決は行わないこととしました。

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第45号	令和8年度葉山町一般会計補正予算(第3号)	可決	P8～9
議案第46号	令和8年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	－
議案第47号	令和8年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	－
議案第48号	令和8年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	－
議案第54号	葉山町行政組織の見直しのための関係条例の整備に関する条例	可決	P10
議案第55号	葉山町デマンド型乗合タクシーの実証運行に関する条例の一部を改正する条例	可決	P10
議案第56号	公共施設等運営権の設定について	可決	P9
議案第57号	教育委員会委員の任命について	同意	－
議案第58号	工事請負契約の締結について　(みそぎ橋橋梁補修工事(第二期))	可決	P9
議会議案第8-5号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書	採択	P10
陳情第8-15号	令和9年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情	採択	P11
陳情第8-16号	令和9年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情	採択	P11
陳情第8-17号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	採択	P10
陳情第8-18号	OTC類似薬の追加負担実施を見送ることを求める意見書提出の陳情	趣旨了承	P11
陳情第8-20号	学校給食費の負担軽減に伴う非喫食児童への支援制度の創設を求める陳情	採択	P11
陳情第8-21号	陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善検討を求める	趣旨了承	P12

町政を問う 一般質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



皆さんはどのテーマに関心がありますか？



一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。
掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。
会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。

金崎ひさ　小中一貫校再整備
荒井直彦　イノシシ対策
山田由美　不用品回収ボックス
石岡実成　まちづくり条例
笹本貢史　無電柱化
窪田美樹　教育環境の充実
中村和雄　町の活性化
三浦大輝　小中一貫校再整備
星加代子　ふるさと納税

金崎ひさ

小中一貫校建設費196億円の根拠は
教育部長 設計事務所が算定した



問 小中一貫校建設費196億円の根拠は。

教育部長 委託した設計事務所の算定額だ。

問 有識者との財政面での話し合いは。

教育部長 12回行った。年内に報告する。

問 「楽校」にするための今の取り組みは。

教育部長 「地域に開く」理解が深まった。

町内会・自治会問題

問 28町内会・自治会の活動拠点は。

政策財政部長 公共施設の活用は20団体。民間施設利用が8団体だ。

問 民間施設使用料の補助はないか。

政策財政部長 助成はない。

問 自主避難所に指定している長柄会館の耐震診断等への指導・補助は。

総務部長 今のところ考えていない。

荒井直彦

家庭菜園のイノシシ被害に補助制度を
町長 先進事例も参考に検討する



問 イノシシの被害の認識は。

町長 令和5年度から令和7年度にかけての農業被害は、報告されていない。しかしながら自家栽培や家庭菜園における被害は寄せられおり、被害額には表れにくい範囲の対策が求められている。

問 家庭菜園のイノシシ被害を防ぐために補助制度を新設してはどうか。

町長 家庭菜園における被害の対策が十分ではない。他の自治体の先進事例も参考にしながら対応を検討する。

南郷交差点改良

問 南郷の歩道橋の維持管理は。

町長 昭和56年3月に町で設置をしており、設置から45年が経過して老朽化が進んでいる。安全性を考慮して点検業務等も含め適切な維持管理を効率よく進める。

問 町の管理であれば、ペンキ塗りや、補強を8年度に行うのか。

都市経済部長 まずは橋の状況を把握し、どのような対応が必要なのか。効率よく行えるような方法を考えていきたい。

問 前回6月定例会議で一般質問をしたハヤマステーション裏側の歩道橋と歩道の安全対策の進捗は。

町長 現地を確認し、安全で安心して通行できる町道とするため、8年度中に着手していく。

問 歩道橋の階段の下は町の土地か。

都市経済部長 町の道路用地になる。

問 ここを拡幅するなど、改善や工夫はできないか。

都市経済部長 この周辺も含め総合的に考えていく。





老朽化した南郷歩道橋

山田由美

不用品回収ボックス
町長 町内会・自治会と協議する

問 長柄下会館は、町が年間210万円で借り上げている。他団体への資金協力も考えては。

政策財政部長 何ができるか考えたい。

問 一色地区の団体も困っているようだが。

町長 旧役場跡地を拠点として見据え、任期中に方針だけでも示したい。

問 堀内会館建て替えに関して付帯決議を提出しているが、地元住民への十分な説明は。

政策財政部長 実施設計の中で意見を伺う。

問 場所移動の要因は都市計画道路だが、幅6×620メートル道路の完成見込みは。

都市計画部長 見通しがたたないが粘り強く進めたい。

問 駐車場の又貸しと旧運営委員会の経理の問題解決は。

政策財政部長 駐車場は年内に解決予定。経理問題は民民に委ね、一定の役割を終えた。

問 堀内児童遊園の遺跡調査は。

政策財政部長 まずは試掘調査をする。

延床面積：19,000㎡		
種別	場所	金額
解体	富山小学校	444,613,000
仮設校舎	一色小学校	840,000,000
新築	富山小学校	13,535,387,000
造成	富山小学校	74,864,000
備品	富山小学校	509,500,000
既存改修	共アール保育園・一色小学校	629,380,000
仮設給食室	岡中学校	442,100,000
設計業務委託・各調査	富山小学校	808,460,000
各申請手数料		4,512,100
監理業務委託		375,440,000
CM業務委託		120,000,000
小計		17,784,256,100
消費税相当額		1,777,974,400
合計		19,562,230,500

小中一貫校建設事業費概算
（議員懇談会資料）

山田由美

不用品回収ボックス
町長 町内会・自治会と協議する

問 長柄下会館は、町が年間210万円で借り上げている。他団体への資金協力も考えては。

政策財政部長 何ができるか考えたい。

問 一色地区の団体も困っているようだが。

町長 旧役場跡地を拠点として見据え、任期中に方針だけでも示したい。

問 堀内会館建て替えに関して付帯決議を提出しているが、地元住民への十分な説明は。

政策財政部長 実施設計の中で意見を伺う。

問 場所移動の要因は都市計画道路だが、幅6×620メートル道路の完成見込みは。

都市計画部長 見通しがたたないが粘り強く進めたい。

問 駐車場の又貸しと旧運営委員会の経理の問題解決は。

政策財政部長 駐車場は年内に解決予定。経理問題は民民に委ね、一定の役割を終えた。

問 堀内児童遊園の遺跡調査は。

政策財政部長 まずは試掘調査をする。

山田由美

不用品回収ボックスの利用状況は

環境部長 非常に好評だ



問 役場入口に設置された不用品回収ボックスの利用状況は。

環境部長 民間企業との提携で、非常に好評だ。町としては、今後も協力していきたい。

問 学校や図書館に広げる考えはあるか。

環境部長 職員の管理の手間があるので、調整しながら、可能であれば広げたい。

死後事務支援と遺贈寄附

問 社会福祉法等の改正により、一人暮らしでサポートを必要とする方の入院支援や、死後事務支援が責務になったと思うが、町の準備は。実施主体は社会福祉協議会なのか。

福祉部長 神奈川県の社協としては、今後拡大される支援業務について、市町村の社協にお願いする方向だと聞いている。令和8年6月の法律改正から2年以内の施行に向け、国のガイドラインを参考に調整していきたい。

問 遺贈寄附について、現金ではなく土地や証券類の寄附の申し出があった時の対応は。

政策財政部長 要望があれば、話を伺う。

まちづくり条例

問 大地震を想定し、新たなブロック塀の設置は禁止すべきではないか。

都市経済部長 財産権があるので難しいが、通学路等については事例を研究したい。

問 駐車場の場合、車が通る場所の芝生等は緑地率から除外するべきではないか。

環境部長 見直す検討はしていない。

堀内会館建て替え

問 公園を貫く都市計画道路には、無理がある。海岸方面から公園までは、まず遊歩道にしてはどうか。公園から東側の道路開通の目途が立つようなら、改めて道路にすればよい。

都市経済部長 進捗途中なら、検討できる。



不用品回収ボックス

石岡実成

まちづくり条例の今後について、提示した資料で共に協議してほしいが

都市経済部長 多角的、かつ論理的に議論を進めていきたい



問 まちづくり条例の今後について、自身が作成した「たたき台」をベースに、まずは議会と勉強会をし、更に町民意見を取り入れながら協議、精査していくべきだと思うが。

都市経済部長 町側で行っている振り返りと、議員から提示された提案を合わせて、多角的、かつ論理的に議論を進めていきたい。

災害に強いまちづくり（豪雨・大雨）

問 台風25号は、三浦半島に甚大な被害を与え、急傾斜地の擁壁安全神話も崩壊した。当町で大きな被害が無かったのは、偶然であり今回の事件を教訓に、今後は、それぞれのエリアや住環境に合った知識や避難行動などの啓発が必要だと感じている。また、国や県との連携を強化し、正しい情報共有や急傾斜地対策をするべきだと思うが。

総務部長 防災講演会、防災訓練、町の広報等でも啓発機会を増やしていきたい。また、今後の公共施設の運営方法も検討する。加えて、国・県との連携も深めていく。

子どもまん中の町にするための施策

問 非喫食者児童の「学校給食費給付制度」導入について、具体的な検討は。

教育部長 様々な施策を総合的に判断する必要はあるが、補助制度自体に関しては、しっかりとした対応が必要だと考えている。

問 町内の子育て支援拠点の進捗状況は。

福祉部長 令和9年4月スタートに向けて着実、かつ順調に進めているところだ。

問 今後の児童館のあり方については。

福祉部長 町が直営している「遊びの広場」の今後を中心に、町内の民間団体と意見交換の場を設けつつ、さまざまな角度から検討していく予定だ。



自作の資料

笹本貢史

無電柱化の進捗は

都市経済部長 令和9年度の測量を予定し、県と連携して進める



問 無電柱化の進捗は。

都市経済部長 令和9年度の測量を予定し、県と連携して進める。

小中一貫校制

問 小中一貫制を支える教員の専門性をどう確保するのか。

教育部長 英語を中心に乗り入れを進めている。教職大学院へ派遣した教員は、現在指導主事として各学校への指導・助言にあたっている。

教育長 町の教育方針を理解し、小中双方への理解、教科の専門性、学校間の連携力を兼ね備えた教員を育成していく。

高齢者介護

問 高齢者介護の次期計画の方向性は。

福祉部長 介護を中心に現計画を踏襲する。訪問介護の供給量は、町内外の事業所との連携で確保できていると認識している。介護人材の確保策を検討し、家族介護者への支援も次期計画に明記する。

障害者福祉

問 障害者福祉に当事者の意思をどう反映していくのか。

福祉部長 アンケートや協議会で意見を聴き施策の評価を受ける。次期計画では、当事者が経験や必要な配慮を語る機会を設ける。当事者の窓口は福祉課ホームページや音声版、パンフレットで周知し、委託相談支援所も記載したい。緊急時の受入れを支える地域支援拠点を研究する。

問 災害時の当事者支援体制は。

総務部長 個別避難計画の作成を順次進めており、引き続き作成方法や実効性の向上を検討する。



消防署前の電柱・電線

窪田美樹

既存校を増築・改修の検討を



教育部長
現新築方針を基本に、実現できる方法を探す

問 葉山小学校前の購入地の古家の安全対策や、学校用地利用までの跡地利用は。

教育部長 年内に地主との手続き終了予定だ。危険箇所に対応し、設計と併せて検討する。

問 小中一貫校再整備が建設費高騰で見通しが立たず、現校舎補修も必要になる。現計画を見直し、既存校を増築・改修の検討を。

教育部長 町の最終方針はわからないが、現新築方針を基本に、実現できる方法を探す。

問 アレルギーやフリースクール利用等給食非喫食者対応の県内自治体が増えた。フリースクール支援策とは別問題だ。給食停止登録者が登校した際の対応も含め、町の考えは。

教育部長 財源も含め研究する。本人の意向に沿い、柔軟に給食を提供する。

問 着衣泳体験は重要だ。全学校での実施を。

教育部長 移動手段と学校の理解が必要だ。

ファミリーサポート利用料等の見直し

問 ファミサポ支援内容が多様化してきている。支援開始以来同額だ。横浜市は利用料や支援費を自治体負担で見直しているが。

福祉部長 他事例や財源を含め研究する。

高齢者帯状疱疹ワクチン定期接種の状況

問 5歳刻みのワクチンの対象年齢の拡大は。

福祉部長 年度内の対象者に案内を送付し、国の定期接種制度に沿って実施している。

問 高齢者タクシー券を複数枚使える検討を。

福祉部長 利用実績を参考に検討する。

問 自然災害が頻発している。現状の個別避難計画を訓練や実際の避難に活かせるか。

総務部長 26人策定済み。実効性を高めるため、社協とも調整し、支援プランを見直す。

問 町社協との災害時協定締結の状況は。

総務部長 未締結で、役割を整理している。



町道買収予定地

中村和雄

職員や町民、企業を巻き込んだ取り組みで、町のやる気を内外に発信しては



町長
民間の力の活用については思案している

問 人口減少による働き手不足、激甚化する気象災害、遠からず発生する首都直下地震等の自然災害、そして低下する経済力とGDPの2倍を超える財政赤字の日本。葉山町も住民の減少、税収の減少、職員の減少、さらに国県の補助金の減少という厳しい時代を迎える。そういう中で196億円の学校整備計画がある。非常に厳しい状況にあることについて町長と認識を共有したいが。

町長 日本の危機と葉山町存続の危機意識は違う。首都圏に位置する地理的優位性、恵まれた自然環境など他自治体に比べて圧倒的な優位性が葉山にはある。これを大切に守っていけば葉山町は廃れないと思っている。

問 町の優位性は理解するし活かすべきと思うが、国の流れは町にも及ぶ。教育や自然景観など葉山の大切な資源にさらに付加価値をつけるため、職員や町民、企業を巻き込んだ取り組みで、町のやる気を内外に発信しては。

町長 いろいろな意見を聴き、民間の力を活用しようと思っているが、公共の立場を考え合わせると一般的な投資など資金を集めるのは難しいと、思案しているのが現状だ。

町内農地の活用

問 日本の食料自給率が1％減り37％になった。干ばつや高温等により作物の世界的不作が起きている。円安で輸入価格も高騰する。農政は国の問題と言っている場合ではない。限られた農地で、しかも難しいいろいろな問題があると理解しているが、葉山の農地を活用し尽くす覚悟で政策に取り組まないか。

都市経済部長 新たな取り組みとして9月から農地マッチング支援サービスをスタートさせた。空き農地の有効活用を期待している。

町民農園の様子

三浦大輝

学校再整備の見通しはいつ動けるか、まだ見えていない



町長

問 再整備する学校を、子どもと地域が共に学び、町全体の価値を高める拠点にしては。

教育長 町民が集い、共に人を育てる場と考える。子どもたちに葉山への愛着を育むべき。

問 約200億円を前提とした財源構成は。

政策財政部長 制度上の財源構成として、国庫補助30億円程度、町債は最大151億円程度を充当でき、残りは一般財源等となる。

問 約200億円の整備は、学びと将来の負担の両面で判断したい。費用増リスクも踏まえ、1年延期とした学校再整備の見通しは。

町長 資金面はまだ報告できる状況にない。建築費等の高騰で、いつ動けるか、まだ見えていない。慎重に考え、確実に進めたい。

子育て世代に選ばれる町へ

問 目指す人口構成を数値で示し、子どもと働く世代の定着を促す施策を実行しては。

町長 今の人口構成を維持したいが、効果的な対策を打てていない。今後も議論が必要だ。

通学と高齢者の外出を支える

問 家計負担を減らすため、バス通学費助成を原則4分の1から2分の1へ拡充しては。

教育部長 近隣に比べ見劣りせず、地区のバランスも踏まえ、見直しは難しいと考える。

問 高齢者のタクシー券は、外出支援の目的を果たせているか。効果の検証方法は。

福祉部長 外出の効果の調査は難しく、現時点では利用率で検証するしかないと考える。

保育園入所を待つ家庭を支える

問 待機・保留児童の家庭は一時預かりの利用で負担が増す。既存の助成に加え、保育園と同等の負担となる支援を検討しては。

福祉部長 認可外保育所には助成している。一時預かりへの助成は今後の参考とする。

タクシー券補助制度を検証した自作資料

町長行政報告

8月17日　災害派遣について
7月28日の熊本地震、8月13日からの千葉豪雨で亡くなられた方々に、深く哀悼の意を表し、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。
町では防災安全課の職員1人を、罹災証明書の発行支援業務のため、熊本市に派遣しました。

8月13日　損害賠償請求事件
（関連記事P7）
以下の内容について、町から説明を受けました。

8月20日　機構改革
令和9年4月の実施を目指し機構改革に必要な準備を行う。
（関連記事P10）

●堀内会館再整備
4～5月で、近隣住民に説明した。令和9年5月以降の解体を目指す。

●逗葉地域医療センター
財政悪化のため、健診・検診事業を廃止する。集団健診は他で継続する。（関連記事P9）

10月9日　新春のつどい（町との共催）
（関連記事P21）

議員懇談会

町民との会議

逗葉医師会

9月29日に逗葉地域医療センターで実施し、逗葉地域の8人の医師の皆さまから、地域医療についてお話を伺いました。

- 産科の現状
- 中学2年生のピロリ菌検査事業
- さくらネット（情報共有システム）
- 帯状疱疹ワクチン接種
- 介護保険主治医意見書作成料の増額要望
- 在宅医療廃棄物
- 逗葉地域医療センター健診業務

（関連記事P9）

詳しい内容は議会ホームページをご参照ください

町民との会議


町民との会議（逗葉医師会）の様子

「町民との会議」の申し込み方

議会では「議会報告会」のほか、町民の方、団体の方々との懇談の場を設けています。
詳細は議会事務局へお問い合わせください。

TEL. 046-876-1111



町内消費につなげるデジタル型返礼品の導入を

政策財政部長
地域経済への効果を踏まえ、研究したい

問　ふるさと納税の寄附を町内消費につなげるため、ＰａｙＰａｙ商品券など地域で使えるデジタル型返礼品の導入を検討しては。

政策財政部長　導入経費や店舗の条件、地域経済への効果を踏まえ、研究したい。

問　電子決済の促進もあわせ、商工会や観光協会と意見交換し、参加意向を調べては。

町長　引き続き、商工会などとの交流の中で今回の提案を伝えていきたい。

富士山噴火への備えを

問　富士山噴火がおきると葉山でも降灰で交通や物流が止まり、長期間の在宅避難も想定される。町民向けの周知は。

総務部長　防災読本の次回改定時には降灰への備えの掲載を検討する。

問　全町民に対し、火山灰を排水設備に流さないよう周知する必要があると思うが。

総務部長　町ホームページなどで周知していきたい。

ペットと避難できる場所

問　台風25号でペットがいるために避難をためらった町民がいた。風水害時に車中泊も危険だ。安全に過ごせる場所の確保を。

総務部長　人とペットの空間を分けられる避難場所について、町施設以外の協力も含め検討している。

保育園での災害対応

問　保護者が帰宅困難となり、園児を翌日まで預かる場合の宿泊訓練や備えは。

福祉部長　先進事例を研究し、民間施設とも意見交換しながら考えていく。

その他の質問　海水浴場の安全検証、水難救助体制、学校での水難事故防止教育の取り組み



県内でも広がる電子商品券型の
ふるさと納税返礼品

議会BCP参集訓練

9月18日、事前予告なしで、震度6弱の地震発生を想定した参集訓練を実施しました。
議会災害対策会議を設置し、議員の安否をLINEで報告し、参加可能な議員が役場に集まり「HUG（避難所運営ゲーム）」を行い、また、災害に関する手話の講習を受けました。




録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

「はやま議会だより」の表紙写真・絵画募集!!

- 第5回の締め切りは12月17日（167号発行は令和9年1月）
- 町内在住・在勤・在学の方
  未発表・オリジナル作品に限ります。
- 一人3点まで
- 第三者の著作権や肖像権を侵害しないもの

令和9年の『新春のつどい』は福祉文化会館での開催になります。



総務建設常任委員会

委員長　荒井 直彦

6月23日

長野県御代田町　ガーデンシティMIYOTA

「百年先を見据えたまちづくり」の公民連携プロジェクト

6月24日

石川県津幡町

令和6年1月1日の能登半島地震等の経験を受けた、議会と町の災害対応

石川県金沢市　金沢未来のまち創造館

地域住民との合意形成を経た、公共施設の複合化と学校跡地の活用

6月25日

石川県川北町　サンフィールド川北

災害時には避難場所・仮設住宅建設用地として利用する多目的グラウンド

●葉山町においても、建設後の維持管理や利用促進、地域課題の解決までを見据えた計画が不可欠であることを再認識しました。



川北町議場にて



サンフィールド川北

教育民生常任委員会

委員長　待寺 真司

7月14日

青森県　六戸町立義務教育学校　六戸学園

小学校３校と中学校２校を再編して開校。計画段階より住民や議会と連携しました。

●葉山町でも、学校関係者のみならず、住民にとっても最適な学校（楽校）になることを望みます。



収納可能な観覧席とステージ



学年集会が開かれる大階段にて

7月15日

青森県　十和田市教育プラザ

教育研修センター及び市民図書館から構成され、安藤忠雄建築事務所設計による、市街地の活性化や来訪者の回遊を促進する複合施設です。図書館の開館時間を長くし、様々な企画やイベントを通して、世代間交流の促進が図られていました。

●葉山町でも、地域コミュニティーの拠点として、学びを支える場や世代間交流の拠点としての図書館の整備が求められています。

7月16日

青森県　三戸町立小中一貫三戸学園

三戸小学校と三戸中学校が施設併設型小中一貫校として、小規模の斗川小学校については、距離的にも離れていることから、連携型小中一貫校として構成されています。

独自教科である立志科や、小学１年生からの英語科を設け、「中１ギャップ」の解消や、学力の向上・定着などの成果も現れています。

●葉山町でも学校の統廃合に際し、単級校である上山口小学校の位置づけなど、複数の選択肢等の情報を町民全体で共有することが肝要だと思います。

友好都市下田市

議長　土佐 洋子

7月23日

下田市役所　河内庁舎

廃校になった旧稲生沢（いのざわ）中学校の校舎と体育館を活用した新庁舎で、学校部分と新築棟を一体化して活用しています。建築専門誌『新建築』でも紹介されました。災害時の浸水に備え、執務室は２階以上に集約され、災害対策本部室も常設されています。

下田中学校

少子化により市内全４中学校を1校に統合した経緯、校歌や校章等の公募、バス定期券の補助、スクールバスの導入等についてお話を伺いました。



旧中学校と一体化した下田市役所



下田中学校

7月24日

南伊豆町役場・清掃センター

役場訪問後、清掃センターで民間事業者が運営する「使用済み紙おむつ等の廃棄物を殺菌・発酵・乾燥し、資源化する」ERSというシステムを見学しました。

●歓迎してくださった両市町の皆さまに、厚くお礼を申し上げます。下田市では第48回カジキ釣り大会（JIBT）のスタートフィッシング等にもお招きいただき、貴重な体験をいたしました。今回の学びを、今後の町のために役立てたいと思います。



南伊豆町清掃センター



下田カジキ釣り大会

議員研修会

8月20日

今回のテーマは「葉山の海から見た地球」です。講師は葉山町在住のプロダイバーであり環境活動家である、武本匡弘（まさひろ）さまにお引き受けいただきました。私たちの誇りであり豊かであるはずの葉山の海ですが、昨今の海水温の上昇や磯焼けにより、藻場が減少していると言われています。

多くの町民の皆さまがご参加くださり、続きのお話を期待するお声をいただきました。

この研修会は議員の資質向上と地域課題への対応を目的に議会主催で毎年実施しています。議員だけでなく、町職員・町民の皆さまにもオープンに開催しています。



貴重な海の記録



武本氏を囲んで